

**熊本地震復興支援「サントリー水の国くまもと応援プロジェクト」
「水の国くまもと未来予想図プログラム」開始**



この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/news/index.html> に掲載しています。

サントリーホールディングス（株）は、熊本地震復興支援活動「サントリー水の国くまもと応援プロジェクト」の一環として、「水の国くまもと未来予想図プログラム」を実施し、4月14日（水）から募集を開始します。

当社は、地震発生直後にミネラルウォーター「サントリー天然水」約21万本を提供したほか、義捐金1億円を拠出するなどの緊急支援を実施しました。さらに、熊本県内に生産拠点を置く企業として、熊本県の早期復興・再生に貢献したいとの思いから、3億円を追加拠出し、「サントリー水の国くまもと応援プロジェクト」を立ち上げ、「熊本地域における地下水の持続可能性に貢献する活動」「文化・芸術・スポーツを通じた心と体の支援活動」を実施しています。

熊本地震から5年を迎える今年、「地元企業だからこそ地域課題に向き合い、熊本の未来を共創するお手伝いを。」という思いから、地元の学生・子どもたちを対象とした「水の国くまもと未来予想図プログラム」を実施します。本プログラムでは、講義・フィールドワーク・ワークショップなどを通じ、若い世代の方々に「熊本の未来」について学び、考え、体感いただき、最後には、行政（熊本県・御船町・嘉島町・益城町などを予定）へ発表する報告会も実施する予定です。

本プロジェクトの他にも昨年7月に発生した熊本豪雨の復興支援などにも取り組み、熊本県内に生産拠点を置く企業として、これからも地域の皆様を応援する活動を実施していきます。

— 記 —

●「水の国くまもと未来予想図プログラム」概要

※新型コロナウイルス感染症等の影響により、内容変更もしくは中止となる可能性があります。

▼プログラム内容

①熊本地震を「考える」オンライン講義

日時：5月29日（土）・30（日）9時～17時予定

場所：オンライン配信

内容：地元活動家や行政・自治体の方による特別講義

②現場で「感じる」フィールドワーク・地域と「創る」ワークショップ

日時：6月12日（土）8時30分～17時予定

場所：震災遺構（熊本城・東海大学阿蘇キャンパス等）、熊本県内施設、
熊本日日新聞社本社（集合解散地）

内容：震災遺構をめぐるバスツアー、「防災」をテーマにした実習

③未来へ「伝える」報告会

日時：6月13日（日）9時～17時予定

場所：熊本日日新聞社関係施設

内容：「熊本の未来」を考えるディスカッションと行政への発表

※本プログラムは、田中尚人氏（熊本大学 熊本創生推進機構及び先端科学研究部 准教授）に
全体監修いただいています

※②現場で「感じる」フィールドワーク・地域と「創る」ワークショップには、熊本日日新聞社の
子ども会員「くまTOMO」の小中学生も参加予定です

▼応募期間 2021年4月14日（水）～4月30日（金）

▼応募方法

ホームページ(<https://zutto-kumamoto.jp/>)より、必要事項をご記入の上ご応募
ください。

▼応募対象者

熊本県内の大学・大学院・短大等に在学中の方

▼決定通知

有識者・関係各社などの審査を経て、5月中旬に通知予定です。

▼主催 (株)熊本日日新聞社、サントリーホールディングス(株)

▼後援 熊本県、御船町、嘉島町、益城町、南阿蘇村、
熊本大学 熊本創生推進機構

▼ホームページ <https://zutto-kumamoto.jp/>

プログラム内容、応募の詳細、問い合わせ先等はホームページ
をご確認ください。

以 上

水と生きる SUNTORY

「水と生きる」は、私たちがお客様や社会と交わす約束です。
貴重な水を守り、水を育む自然環境を次世代につなぐこと。商品やサービスを通じて人々の心を潤すこと。
水のように柔軟に力強く新たな価値創造に挑戦すること。
これらの約束を果たすため、私たちは様々な活動に取り組んでいます。



〈ご参考〉 サントリーグループの熊本地震復興支援 「サントリー水の国くまもと応援プロジェクト」について

当社は、地震発生直後にミネラルウォーター「サントリー天然水」約21万本を提供したほか、義捐金1億円を拠出するなどの支援活動を実施しました。さらに、熊本県内に生産拠点を置く企業として、熊本県の早期復興・再生に貢献したいとの思いから、3億円を追加拠出し、「熊本地域における地下水の持続可能性に貢献する活動」「文化・芸術・スポーツを通じた心と体の支援活動」を継続しています。

■「熊本地域における地下水の持続可能性に貢献する活動」

熊本県の産業・観光振興の基盤であるとともに、県民の生活を支える貴重な資源である地下水の持続可能性に貢献すべく、公益財団法人くまもと地下水財団^{※1}とともに「サントリー熊本地下水みらいプロジェクト」を開始しました。

地下水涵養のための湛水農地^{たんすい ふゆみずた}「冬水田んぼ^{※2}」の復旧に取り組むほか、水源涵養対策の拡大を図っていきます。また熊本大学が実施する地下水流動メカニズムの調査・研究を支援し、その結果を本プロジェクトに活用していく計画です。

「冬水田んぼ」では、合計約22haの水田で災害復旧工事を実施し、2017年に、収穫ができるまで復旧させることができました。

※1 熊本県の県民・事業者・行政等が一体となり、熊本県の清冽で豊かな地下水を未来に残すため2012年に設立。

※2 肥沃土の生成や雑草の減少を目的とし、休耕する冬期の田に水を張る伝統農法。水が地下に浸透することによる効率的な地下水涵養が期待されている。サントリーグループは、より幅広く地下水涵養を機能させるべく、2010年から行政や地域の協力のもと熊本県上益城郡益城町にて「冬水田んぼ」の活動を実施している。

■「文化・芸術・スポーツを通じた心と体の支援活動」

被災した方々、とりわけ子どもたちや避難所・仮設住宅での生活を余儀なくされている方々の心と体の支援をしたいという思いから、文化・芸術・スポーツを通じた活動を実施しています。

公益財団法人サントリー芸術財団と連携したコンサートや音楽教室の実施、サントリーバレーボール部、ラグビー部によるスポーツ教室の開催など、地域に寄り添った活動を積極的に展開しています。さらに、サントリー商品を通じたプロモーション活動や、当社主催イベントでのチャリティ金を活用した支援も引き続き取り組んでまいります。